

株式会社 ウイングコーポレーション

- ▶ 対象類型 デザイン
- ▶ 事業類型 一般型
- ▶ 主たる目的 商品開発、市場開拓

従来にないデザインの自由度を実現するエコバッグ印刷事業



- | | | |
|---|---|---|
| 2 | 1 | 1/フルカラー印刷機などの新しい設備を活用して製造したエコバッグ。2/高精細でデザイン性の高い図柄を印刷できる衣類向けインクジェットプリンター。3/プリンターのほか熱転写プレス機や前処理剤自動塗布機を備えた設備。4/デニム素材の加工にも活用するためレーザー彫刻機も導入した。 |
| 3 | | |
| 4 | | |

フルカラー印刷により、デザイン性の高い販促資材を開発。

ウイングコーポレーションは、インターネット経由でのオリジナルタオルの受注生産や、ボールペンやライターへの名入れなどの印刷事業を行っているが、顧客からは新たな販促資材を求める声があった。そこで環境意識の高まりから利用が広がっているエコバッグに注目。より魅力的で広告宣伝効果の高いデザインを印刷するための設備を整えた。フルカラーの高精細な印刷でデザインの表現力を高めるため、衣類向けのインクジェットプリンターを導入。併せて、印刷面の布素材を平坦にするとともに耐久性を向上させる熱転写プレス機や、黒色生地へのインク乗りをよくする前処理剤自動

塗布機で、印刷の品質向上も目指した。さらに、耐久性に優れ生地としても人気だが、印刷には不向きなデニム生地のエコバッグを実現するため、レーザー彫刻機により生地の強度を保ったまま絵柄を刻印する技術も開発した。

本事業によって、デザインの自由度の高いエコバッグの生産を、低コストかつ短納期で、小ロットから内製できるようになった。ワンストップで顧客ニーズに対応できることを強みに、レジ袋有料化やエコロジー意識の高まりに応える魅力的な販促資材として、新規事業の立ち上げに成功した。

注目すべき成果

▶ デザイン性の高いエコバッグ生産を内製化。

自社で調達したエコバッグに、フルカラーで高精細な印刷ができる設備を備えることで、エコバッグ生産を内製化。ワンストップで受注し、小ロットでも短納期で対応できる強みで、エコバッグという新規分野を開拓した。

事業活動の付加価値

▶ 綿生地を用いた他の製品への活用も。

綿生地に高品質なフルカラー印刷ができる設備と独自の生地調達能力を活かし、新型コロナウイルス感染予防のためのマスクなど、時節に対応しながらエコバッグ以外の販促資材を展開していくことが可能になった。

今後の展望

▶ 多様な繊維でテキスタイル印刷の可能性を広げる。

本事業で導入した設備は綿生地にしか印刷できないが、今後はポリエステルなど他の生地に対応できる設備も導入予定、より多様な顧客のニーズに対応できるテキスタイル製品で、販促商品の開発を目指す。

ものづくり専門員から一言

フルカラー印刷の多様な新規展開を指向。

レジ袋の有料化や環境問題への意識の高まりで注目が高まるエコバッグについて、顧客からのニーズを敏感に捉えて内製化の技術を獲得。さらにその技術を応用、発展させていくことで、テキスタイル関連印刷事業の多様な展開を積極的に見いだしていこうという姿勢が印象的だ。

こんな会社です！



代表取締役
飛田 実さん

自社サイト・調達力・自社加工を強みに、新しい販促グッズを提案。

インターネットのタオル印刷専門店「ウイングタオル」からのオリジナルタオル製作と、ボールペンやライターなどの販促商品の自社製作が大きな事業の柱です。当社の強みは短納期、低価格で小ロットにも対応できること。その理由の一つ目は自社でネット通販サイトを運営していること。二つ目は自社で独自にタオルやボールペンなどの商材を仕入れる調達力。そして三つ目は、在庫の商材に自社加工でプリントを行うこと。お客様のニーズや市場の動きにすぐに対応することができ、一つからでもオリジナルの印刷やプリントが可能です。



インターネット経由で受注・生産しているオリジナルタオル。



本社・工場

株式会社 ウイングコーポレーション

代表者/代表取締役 飛田 実
設立/2000年(平成12年)10月
資本金/1,000万円 従業員数/23名
事業内容/名入れ・オリジナルタオル・デザインマスクの加工・ネット販売、ライター・ボールペン・エコバッグ等への広告印刷、ノベルティ商品の直輸入
売上高/3億1,780万円(2019年9月期)

本社: 〒918-8231 福井市間屋町1-6
☎0776-25-3100 FAX.0776-25-6490
E-mail infoweb@wing-towel.com
URL https://wing-towel.com/